

～ 【 期末試験に向けて 】 ～

「1月は一時^{いっとき}」「2月は逃げる」「3月は去る」と言いますが、2月になって急に時間の過ぎるスピードがアップしたように感じています。今週は2月第3週となり、いよいよ令和3年度もゴールが見えてきました。今週は木、金曜日が1、2年生の学年末テスト、来週の木、金曜日は公立高校後期入試。そして再来週は卒業式を迎えます。

まずは1、2年生の皆さん。まん延防止措置に伴う部活動停止が1月29日(土)から続いています。試験勉強に関していえばいつもの2倍勉強できたのではないのでしょうか。

担任の先生から今度の試験の目標を聞かれたかもしれませんが、少なくとも1教科3～5点、国数英理社の5教科合計で15点～20点くらいはいつもの平均より上回ってほしいものです。

まさか、試験勉強を全くしていない、という生徒はいないですよ。勉強したってどうせ分からないから。」と言っている生徒も、心のどこかで「分かりたい!」と思っているはず。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言います。社会人になって「学生時代にあまり勉強していませんから。」と言わなければならない時の辛さ、悔しさに比べれば、今、「先生、分からないから教えてください。」と言うことがどれほど楽か、こればかりは大人になってそういう場面にならないとわかりません。

分からないのが当たり前時期に、精一杯「分かりません。」と言い、一問でも二問でも解けるようになって家に帰る、その積み重ねによってその後の人生を大きく左右すると私は思います。

1、2年生の皆さん、周りを見て本当は「分からないから分かるようになりたい。」と思っているような友達がいたら、進んで声をかけて、一緒に勉強してください。分からない人には積極的に教えてあげる。本当に分かっている人は分からない人が分かるように教えることができます。分からない人が「よく分からない。」と言う時は、教え方がまずい。つまり本当に理解しているとは言えません。

部活動のない日々、時間がたくさんあると思います。安心して「分からない。」と言い、喜んで教えてあげる、そんな支え合いが自然にできるクラスになってほしいと思います。



～ 【 高校入試に向けて 】 ～

さて次は3年生。受験をすでに終えた生徒は残された時間を有意義に、たくさん思い出をつくと同時に、これから試験!という生徒が安心して学習できる環境づくりに協力してください。

そして公立高校後期入試を受ける生徒の皆さん。今の気分はどうでしょうか。私もはるか昔のことですが、自分が受験した頃のことはいつまでも鮮明に覚えています。

受験前2週間。浮かんでくるのは「落ちたらどうしよう。」この言葉ばかりでした。マイナスイメージばかり浮かび、勉強が全く手につかない日があったので、ある日、開き直りました。そしてノートに「落ちる。」の言葉を何十回、何百回と書きました。勉強が手につかず、時間ばかり経つのがとても無駄に思い、どうせ無駄にするなら今日一日無駄にしよう、「落ちる」「落ちる」「落ちる」...何回も書きました。書き続けているうちに、不思議なことに気持ちがだんだん軽くなり、「落ちても別にいいや。」と思うようになりました。マイナスイメージでもなく、プラスイメージでもない、独特の境地に入ったような気がしました。勝負を前に肝が据わった状態になったのだと思います。

次の日から猛勉強を開始しました。暗記カードをもう一度徹底的に復習しました。分からなかった問題、うまく解けなかった問題を、時間制限を自分で設けて、時間内に解けるように徹底的に練習しました。めちゃくちゃ勉強に集中し、気づいたら朝の4時になっていた日もありました。

受験本番の日、模擬試験の時はあれほど気になっていた他校生の言動が、全く気にならなくなっていました。休み時間に聞こえる「できた?」「いやー...」の会話もどうでもよく感じました。

受験生の皆さん。本番まで10日もあります。復習と同時に、自分の心をもう一度見つめ、自分の心の状態を最もいい状態に持って行ってください。いろいろな方法があると思います。そしてこんな時にどのように行動するか、行動できたかが、あなた方にとって人生の宝になっていくものだと思います。

全員が実力を100%発揮できますように、祈っています。

